

要望活動報告書

令和2年11月13日

長浜市議会議長

様

長浜市議会議員 押谷 與茂嗣

私が出席した次の要望活動の結果について報告します。

記

1. 要望内容 厚生労働行政に対する要望
2. 期 間 令和2年10月29日（木）～30日（金）
3. 要望場所及び目的
厚生労働省
 - ・新型コロナウイルス感染症対策について
 - ・地域医療の充実について
 - ・福祉・介護人材の職業的地位の向上について
 - ・行政専門職の事務負担軽減について ほか

4. 内容・感想等

・要望の内容

厚生労働省を訪問し、厚生労働大臣政務官である小鍬隆史参議院議員にお会いし、次の事項について、要望を行った。

○新型コロナウイルス感染症対策

- ・感染症対策として、安定的な医療体制確保のための支援の継続や、国の専門的知見による支援の充実をお願いしたい。
- ・日本版CDCセンター等の立ち上げにより、我が国の感染症対策の高度化を図っていただきたい。
- ・平時の公立病院の役割の見直し・支援の拡充をお願いしたい。

○地域医療の充実

- ・地域間に存在する医師の偏在を解消し、都市部・山間部等地域特性に応じた医療体制、通院手段の確保等の対策を進めていただきたい。

○福祉・介護人材の職業的地位の向上

- ・福祉、介護にかかわる人材を確保しやすくするため、福祉、介護にかかわる職業人の専門的能力を高める仕組みを構築し、職業的地位向上をより一層進めていただきたい。

○行政専門職の事務負担軽減

- ・個別相談等の業務を主とする行政専門職が、支援を必要とする人に対応するには多くの相談事例を迅速に振り分けていく必要があることから、国による「AIを活用する支援システム」の開発をお願いしたい。

○寄附文化の醸成

- ・民生分野では寄附の精神が根付いていますが、国をあげての寄附の精神を醸成する取組を推進していただきたい。

○外国人への情報発信

- ・市町村では、在住外国人の方への情報発信に時間がかかることから、国からの通知、発出段階で多言語化する取組をお願いしたい。